オートリフター（電動式昇降装置）の使用に関しての留意点

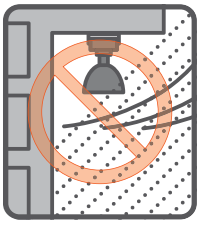
⚠ 安全に関するご注意

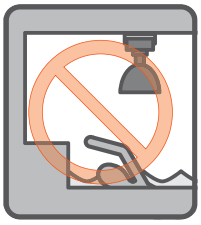
●照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
●ご使用の前に、「取扱説明書」をよくお読みいただくか、お買い上げの販売店または専門施工店にご相談の上、正しくお使いください。
●商品には安全にお使いいただくための注意シールが貼ってあるものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。
●「安全に関するご注意」については、巻末の「照明器具の正しい使い方」にも記載しておりますので、ご一読ください。P1129

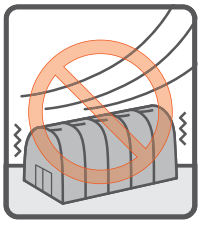
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。（エバーライトの場合15年：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。）

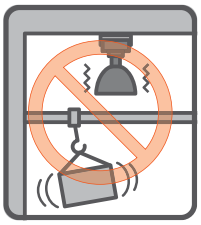
■下記の使用禁止場所や施工内容をお守りください。誤って使用されますと器具落下、感電、火災などの原因となります。
また、照明器具には個別の注意事項がありますので、承認図などでご確認ください。

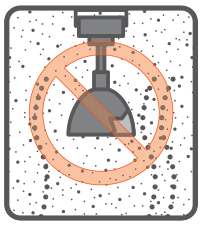
オートリフターの使用禁止場所

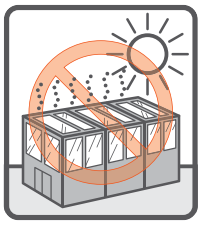

風を防ぐ壁がない建物などの雨・風の当たる場所、風が通りやすい場所


プール・浴室などの湿度が85%を超える場所

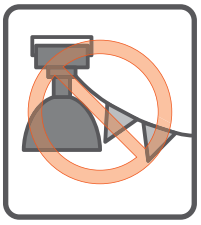

テントなど風でゆれやすい建物・工作物

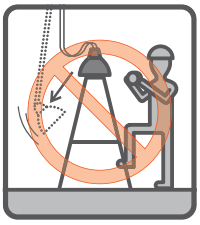

クレーンなどの振動が発生する場所や衝撃の多い場所

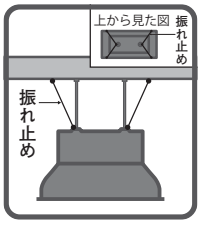

粉塵（専用器具を除く）や腐食性ガスの発生する場所


ガラス張りの屋根などの高温（40℃以上）になる場所
冷蔵室など周囲温度が-15℃以下の場所

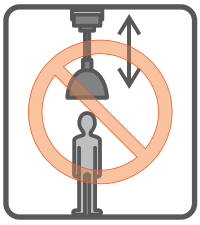
オートリフターの施工・操作時のご注意

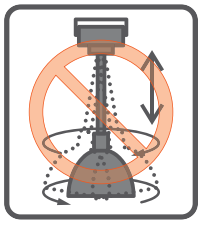

旗や垂れ幕などを取り付けるなど、照明器具の昇降やメンテナンス以外の目的に使用しないでください。

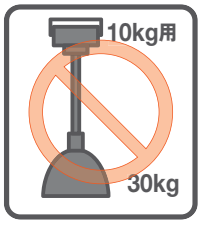

照明器具を取り付ける時、ワイヤに衝撃が加わる可能性がある作業はしないでください。



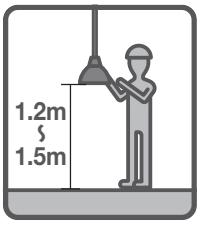
ボルトを出して吊り下げ取り付けする場合は、振れ止めを行ってください。


昇降操作中は、照明器具の直下に立ち入らないでください。周囲の安全を確認してください。

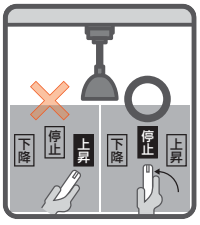

照明器具を回転させたり、ゆらしたりしないでください。ワイヤがねじれたり、照明器具がゆれている時には上昇させないでください。



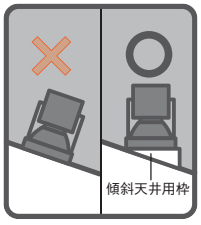
器具質量に合わせてオートリフターを選定してください。



照明器具の取り付けは適正位置（1.2m〜1.5m）で行ってください。



昇降操作が終了したら、必ず昇降電源を切ってください。



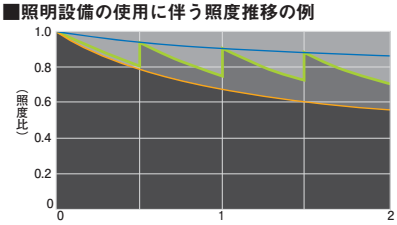
傾斜天井には適切な傾斜天井用枠を使用し、許容取付角度以内に取り付けてください。

（その他）
●実総質量（オートリフターの質量と照明器具の質量を加算した質量）に耐える強固な構造躯体などに取り付けてください。
●昇降操作前には必ずランプ回路の電源を切ってください。
●ワイヤに傷や変形、部品に破損や変形を見つけたり異常を感じた場合は、使用を中止してください。
●オートリフターの定格昇降回数、寿命（15年）を超えての使用はしないでください。

保守と管理の重要性

照明器具を使っていると、汚れなどによる明るさの低下や、振動、腐蝕による接触不良や絶縁不良、さらに寿命のきた不点灯ランプの発生など、さまざまな不具合がでてきます。（下図参照）
不点灯ランプの交換、一定期間ごとの点検と清掃、およびこれらの記録の活用によって快適な照明環境を保つことができます。

■照明設備の使用に伴う照度推移の例

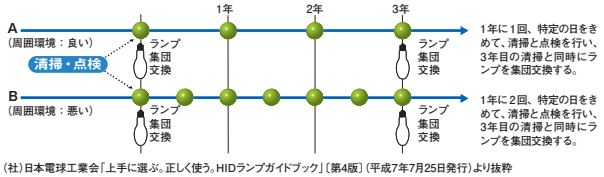


a：ランプ自身の光束低下による照度低下分（3,000時間1年点灯）
b：照明器具・ランプを半年ごとに清掃したときの照度の推移
c：清掃しなかったときの照度の推移

ランプと照明器具の清掃

ランプや照明器具の汚れによる明るさの低下は、ランプ・照明器具の種類や取付状態、環境などによって異なります。一例として、反射笠付き照明器具使用の体育館や工場の場合、ランプと照明器具の汚れにより1年に約15%の照度低下（左図参照）がみられます。従って、所定の照度を維持するためには、設備の点検やランプ交換と同時に、照明器具を定期的に清掃することが必要になります。（下図参照）

■清掃とランプ交換の組み合わせ例



（社）日本電球工業会「上手に選ぶ。正しく使う。HIDランプガイドブック」［第4版］（平成7年7月25日発行）より抜粋

在庫区分：　◎…常備在庫品　○…工場在庫品　㊐…受注品／★…ランプ付希望小売価格でランプ同梱包　㊒…ランプ付希望小売価格でランプ別梱包
希望小売価格には消費税は含まれておりません。希望小売価格表示のない商品の納期および価格については、お取引先にお問い合わせください。